

# 火打石沢から引馬峠

斎藤 美和子

- 山行年月日:2022年8月20-21日
- メンバー:斎藤美和子 大竹尚子
- コースタイム:20日 舟岐橋 9:30~13:00 深沢出会  
21日 深沢出会 5:50~8:50 引馬峠  
9:30~12:20 深沢出会 12:30~14:30  
舟岐橋

引馬峠は、桧枝岐村と塩谷郡栗山村を結ぶ峠でかつては往来が盛んで水準点もおかれていたが、1/5万の地図では、昭和47年には栃木県側の道路は消失。平成2年には福島県側の記載もなくなりその後全くの藪に帰したとの記載があった(会津の峠 歴史春秋出版KK, p269-272 2006年)。旧道を辿ってみたくて出かけた。ついでに引馬峠から孫兵衛山を目標に舟岐川を遡行する予定とした。舟岐橋のところに駐車。深沢出会いまで昔の林道を利用できるとネットに乗っていた。小沼さんも後から来るとのこと。林道にはゲートがある。しばらく歩くと進入禁止の黄色のテープ。踏み跡があるが、ここからは藪、落石、林道崩壊等で道が不明瞭となった。木に覆われた越の沢橋のガードレールはひしゃげていたが、しっかりしていた。もう少しで深沢出会のところで雨が降ってきた。雨宿り後、ほんの少しで深沢の出会のテント場であった。尚子さんがタープ持参。テントを張っている途中で小沼さんが到着。雨は夜中には止んだ。

翌日は、小沼さんとは別行動で出発。林道途中で沢に降りる。この沢は明るく、滑が多い。滝も現れるがすべて登れるか巻道がしっかりしている。途中で立派な橋だけがのこっているところもあった。流れは、穏やかで癒される素晴らしい沢であった。峠までの最後の詰めもほとんどやぶ漕ぎなし。GPS, YAMAPも起動したが、原生林の中、引馬峠の看板や水準点は見つからなかった。この時点で9時、しかも午後は雨の予報。ここで終了とした。帰りは、1/3くらい降りたところで小沼さんに出会う。テント場から2つめの橋のところで入渓したと。帰りは、橋を渡って旧道から戻ろうと思ったが、滝を巻いて対岸の踏み跡を辿ったらいつの間にか橋を過ぎていた。テント撤収し2時間で車に戻った。車に乗ると雨が降ってきた。昔の道を辿れてしかも、森林浴たっぷりの癒される沢でした。尚子さんありがとうございました。



引馬峠近くの沢 苔むした岩が美しい